

市民メンバー募集！魅力発信プロジェクト

市の人口が今後減ってくる中、これからもこの地域で住み続けたい、この地域に戻ってきたいと思ってもらうためには、市の魅力を理解し市内外に魅力を伝えていくことが大切です。一緒に市の魅力や伝え方を考える「湖南市魅力発信プロジェクト」市民メンバーを募集します。ぜひご参加ください。

- 対象 市内に在住、在学・在勤の人
※謝礼・交通費などの支給はありません。
- 定員 20人
- 活動内容 専門家による講演会、グループワーク
- 申込方法

4月2日(月)～13日(金)に氏名・連絡先を記入の上、メールで問まで(講演会のみ参加も可)。



▲市の魅力について話し合う職員



●講演会

- 日時 4月17日(火) 午後6時30分～8時
- 場所 市役所東庁舎
- 内容 「シティプロモーションの新しい展開」
- 講師 河井孝仁さん(東海大学文学部教授)

●グループワーク

- 開催時期 4月～6月(3回程度)
- 時間 午後1時30分～4時30分

問魅力発信プロジェクト事務局(総合政策部)(東庁舎)

☎71・2316 ✉seisaku-ko@city.shiga-konan.lg.jp

わが国は人口減少時代に入りましたが、湖南市も例外ではありません。全体の人口が減るだけでなく、少子高齢で生産年齢人口が減っていきます。そうすると生産力が落ち、税収が減っていきますので、社会保障を支えることが厳しくなりますが、そうした時代においても耐えられる財政基盤をつくらなければなりません。

そのため、先月、新しい『長期財政計画』を策定しました。湖南市は、企業活動が活発でまだ生産年齢人口が多いため、財政力は他の自治体に比較して優位にあります。

しかし、国から支払われる地方交付税が合併後に削減されているのに対し、介護や福祉、医療などの社会保障制度の充実で歳出が増えており、財政は年々ひっ迫する傾向にあります。

そこで、現状の景気回復基調で経済状況が継続する場合と、



リーマンショック時並みの不況に見舞われ税収が激減した場合の2パターンで今後10年の財政計画を策定しました。

歳入については、市税は継続ケースでは10年で1億4千万円ほど伸びるのに対し、悪化ケースでは6億8千万円ほどの減収となります。また、地方交付税は継続ケースで2億3千万円ほど減少し、悪化ケースでは3億7千万円ほど増加します。

一方、歳出については、障がい福祉サービス費が5%増、老人福祉費が3%増などが見込み、大型の公共事業としては、東庁舎の建て替え、石部駅のバリアフリー化、市営住宅の改修、小学校の空調設備整備、三雲駅周辺整備などを見積もりました。

その結果、収支改善のために市税徴収率の向上や広域事業負担金の見直しなどを行い、振興基金を活用するなどして、平成39年度でも両ケースとも収支均衡する計画としています。

この計画の実現のため、各種の財政指標に目標値を設定していますが、さらに重複・老朽化した公共施設の廃止統合や新規公共事業の抑制なども必要となりますので、市民の皆さんのご理解をお願いします。